

2017年度

公益社団法人北海道社会福祉士会
第2回 実践研究集会（全道大会）

講 演

地域共生社会の実現に求められるソーシャルワークの機能
～社会福祉士への期待～（仮称）

現在、厚生労働省において、2016年6月閣議決定された「ニッポン一億総活躍プラン」に基づき、地域共生社会の実現に向けた各種施策を展開されております。

そのため、ソーシャルワーク専門職である社会福祉士が、今後道民とともに我が事・丸ごとの地域づくりの推進に向けて、より一層の理解と私どもに求められる役割を遂行していく必要があると考えております。

そこで、第2回目となる全道大会の基調講演において、私たちの日々の実践に大きく関係してくる、これらのことに関してあらためて参加者とともに考える機会として、開催いたします。

日 時 2017年6月10日 午前10時00分から午後0時まで

場 所 札幌市中央区北2条西7丁目1番地 かでの2.7 520 研修室

講 師 厚生労働省 社会・援護局

社会福祉専門官 添 田 正 揮 氏

【プロフィール】 社会福祉士。

川崎医療福祉大学医療福祉学部医療福祉学科卒、日本社会事業大学大学院博士前期課程修了、城山町社会福祉協議会（現：相模原市社会福祉協議会）福祉活動専門員、日本社会事業大学実習講師、川崎医療福祉大学医療福祉学部医療福祉学科講師を経て現職。